

被爆80年
広島大学原爆放射線医科学研究所
長崎大学原爆後障害医療研究所
共同特別企画

[共催]放射線災害・医科学研究拠点(広島大学・長崎大学・福島県立医科大学)

原爆は実に多くの過酷な人生を生み出しましたが、被爆地の大学の医学部も、その一員でありました。

広島大学医学部は1945年8月5日に開校しました。

長崎大学医学部はほぼ爆心地となり、夏休みを返上して学ぶ学生、いつも通りの営みのはずであった研究者や病院は、突然大変大きな打撃を受けました。生き残った学生たちは、季節になると虞美人草が咲き誇る、医学部キャンパス近くの「**グビロが丘**」に、散り散りになった亡き友たちの遺骨を少しずつ拾い集め、慰霊碑を建てました。

広島大学は、戦後、学問の復興への決意を、力強くよみがえる不死鳥(**フェニックス**)の名を持つ植物に託して学章としました。

被爆に屈しない80年を過ごしてきた被爆地。その地の大学では、被爆医療、原爆医学研究に取り組み、現在もその原点を継承しています。今回はその取り組みの一端をご紹介します。

2025年度 企画展示

グビロが丘の祈り、 フェニックスの誓い

—被爆の医学を追い求めたヒロシマとナガサキの80年—

広島会場

10/14(火) ▶ 12/25(木)
10:00~16:00
(土日祝日を除く)



広島大学医学部
医学資料館
広島市南区霞1丁目2-3

入場無料

10/23(木) ▶ 10/26(日)
10:00~16:00



広島国際会議場
広島市中区中島町1-5

有料
(学会参加費)

学会参加者のみ

英語展示

日本放射線影響学会第68回大会での出展

10/26(日)
9:00~12:00



広島国際会議場
広島市中区中島町1-5

入場無料

学会参加者のみ

第66回原子爆弾後障害研究会での出展

11/1(土) ▶ 11/5(水)



広島国際会議場
広島市中区中島町1-5

関係者のみ

学会参加者のみ

英語展示

パグウォッシュ会議世界大会での出展

問い合わせ【広島】広島大学原爆放射線医科学研究所附属被ばく資料調査解析部 電話:082-257-5877